

経ヶ岳（雪山ハイキング）

【報告者】 I 藤

【日時】 2017年1月22日

【天候】 雨のち雪、曇り

【参加者】 A屋（CL） K田 I 藤

《コースタイム》

中山キャンプ場 9：30－山頂 13：30－中山越 13：50－金泉寺山小屋 14：30－中山キャンプ場 15：00

《 報 告 》

今回は、長崎県、佐賀県の県境にある経ヶ岳に参加させて頂きました。2017年2月号の「山と溪谷」に大きなつららや美しい樹氷の記事が掲載されていることを突如、A屋さんから教えてもらいました。

色々情報を集めていたところ、果たして現実には、長崎県や佐賀県に降雪や積雪があるのかなあと、また、登山道の付近の路面の凍結の運転を考えると色々心配になってしまい、私の気持ちは次第に半信半疑へと移り変わりました。

しかし、通称「そうめん滝」といわれる大つららや滝の芸術作品をイメージしていると、実際に自分の目でみたいと奮い立たせる決心に至りました。

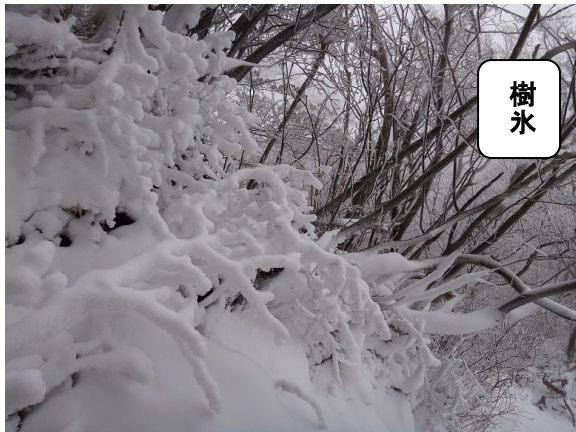
駐車場に到着しました。予報通りの雨でしたが、雪に変わるだろうとA屋リーダーの予測に従い、決行することにしました。

その判断は的中したので、私の気分は少し安堵しました。登山道が真っ白に覆われていく雪道を見つめながら、パウダースノーをザクザク踏む感触を楽しんでいました。積雪は多い部分で20cmくらいあったと思います。また、かすかな踏み跡を追いながら、他の登山者とは誰一人と会うことはなく、ひっそり物静かな雪山をまるで占有したか

のように私は満喫していました。

雪山といっても、楽しいばかりではありません。登山道に真っ白な雪が積もると、目の錯覚を引き起こしたかのように、知らず知らずのうちにコースを見落とす怖さが潜んでいます。

我々は、標識や分岐点で標高やルートをチェックを怠らないよう注意をしました。



山頂に無事に到着し、写真撮影を済ませました。中山越に向かう途中の鎖場付近では、枝の全体が丸く雪で覆われた樹氷が、アーケードのように出迎えてくれます。ピンク色や黄色に染まれば、まるで海中のサンゴ礁です。

また、おそろおそろ先に進んで行くと、右の方向から大つららに直面することが出来ました。雑誌で紹介されたほどの太さはありませんでしたが、まるでツリーチャイムのようなようです。

次は山小屋にむけて歩きました。金泉寺という寺の真横にある小屋です。中に入ると、中央に暖炉があり、炊事場には調理器具が囲んであり、昭和のレトロな雰囲気漂います。小屋のご主人たちと、暖炉を囲みながら心も温まり、軽い話を



大つらら

り、軽い話を済ませました。そのあとには、小屋の方がわざわざ外に出て、下山のルートまでも我々に親切に説明して見送って下さいました。おかげさまで、早めに中山キャンプ場を下り、無事に日帰り雪山ハイキングを楽しむことが出来ました。

メンバーの皆さん、小屋の方々に感謝を致します。どうもありがとうございました！！！！



金泉寺山小屋